

採択結果及び採択理由書

教科	特別の教科 道徳
----	----------

採択に付した教科用図書：6社（東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、光文書院、学研教育みらい）

【採択教科用図書】

発行者	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名
光村図書	38	道徳 114、214 314、414 514、614	どうとく1・2・3 きみが いちばん ひかるとき 道徳 4・5・6 きみが いちばん ひかるとき

[採択理由]

「特別の教科 道徳」6社の教科用図書は、学習指導要領に示されている道徳科の目標に結び付く内容をしっかり扱っている。また、学習指導要領の趣旨に基づき、自己の生き方について考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されている。いずれも児童の発達段階に即して系統的、発展的に構成されており、質の高い仕上がりである。

とりわけ、「光村図書」の教科用図書は、題材のバランスが良く、様々な道徳的内容について考えることができる。

「話合いのコツ」「心を通わそう」「考える準備体操」「学びの道具箱」と、話合いの具体的な方法が提示され、考えを深める手助けとなるよう工夫されている。

思考を深めるための言葉やツールが紹介され、深い学び合いにつなげるための工夫がなされている。役割演技が多く紹介されており、子どもが役になりきって多面的に捉えやすい。

他者への思いやりや、人権意識を高めることができるいじめ問題を扱った内容では、子どもたちにとって起こりがちな日常の問題が多く取り上げられている。

いろいろなタッチの見やすい挿絵が多く掲載され、親しみやすい。

二次元コードから、判読や資料にリンクできるようになっている。

SDGsに関する内容は、発達段階に応じて扱っている。

学習の記録については、1年生から4年生ではシールを活用し、5年、6年は一言感想で記録を残すことができるように工夫されている。

以上のことから、「特別の教科 道徳」については、自己の生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる「光村図書」の教科用図書を採択する。

